

第 1 回市民ワークショップ 実施報告

■ 目的

環境に関する市民の意識や意見を収集・把握し、(仮称)小平市第三次環境基本計画の策定に活かす。

■ 市民ワークショップ概要

無作為抽出によるアンケートにワークショップの参加依頼を同封し、参加希望があった方を登録した上で、当日参加可能な方に実施した。

- (1) 日時 令和元年 11 月 30 日 (土) 午後 2 時～午後 4 時
- (2) 場所 リサイクルセンター多目的ルーム
- (3) 参加登録者 27 名
- (4) 当日参加者 10 名

年齢	10 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代
人数	1	1	3	3	2

■ 次第

- (1) 小平市の環境に関する取組について
- (2) ワークショップ
 - ① 「小平市の環境の良いところ、悪いところ」
 - ② 「小平市の環境が将来どうなってほしいか」
 - ③ 「②を実現するためには何をすべきか」
- (3) まとめ

■ 内容

(1) 小平市の環境に関する取組について

小平市は現在、「小平市第二次環境基本計画」や地球温暖化対策実行計画(区域施策編)である「小平市地域エネルギービジョン」、地球温暖化対策実行計画(事務事業編)である「第二次エコダイラ・オフィス計画」の計画期間中である。これらの計画に基づいて実施してきた事業や実施中の取組(太陽光発電設備の設置費助成や、環境美化及び迷惑喫煙防止対策の推進、生物多様性の普及啓発等)を紹介した。

そして、これから小平市の実情に応じた「(仮称)小平市第三次環境基本計画」を策定するにあたって、市民の皆様から広く意見を収集することを市民ワークショップ開催の趣旨として説明した。



(2) ワークショップ

1 班 5 人ずつの 2 班に分かれるとともに、市職員が 1 人ずつ班に加わり、4 つの分野(エネルギー、廃棄物関係、自然環境、生活環境)についてテーマごとに考えていただいた。意見や考えを付箋に記入し、模造紙に貼り、班内で意見交換をした。その後、2 名ずつメンバーを入れ替え、それぞれの班で出た意見を共有し合った。

【ワークショップの概要】

本日のワークショップ中のルール

- ① 自由に
- ② 否定しない、批評しない
- ③ 便乗する
- ④ 質より量
- ⑤ ここ以外の場所で言及しない

①「小平市の環境の良いところ、悪いところ」

自然環境や生活環境分野への意見が多い傾向にあった。



<良いところ>

エネルギー	廃棄物関係
<ul style="list-style-type: none"> LEDの利用により夜道が明るい。 学校に太陽光がのっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 戸別収集になったこと。
自然環境	生活環境
<ul style="list-style-type: none"> 公園や緑地など、緑が多い。【4件】 動物が多い。【2件】 野菜関係。【2件】 水に恵まれている。 花壇の花を配っている。 ほたるを育てている。 食に感謝できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 静か。【2件】 コミュニティバス。 駅が沢山あり便利。 災害が起きにくい。 住みやすい。 交通が便利。
その他	
<ul style="list-style-type: none"> 遊歩道や道路の整備。【2件】 歩道が多い。 郷土文化が継承されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 花小金井地域の市民の取組はいい。 人付き合いが良い。

<悪いところ>

エネルギー	廃棄物関係
<ul style="list-style-type: none"> 最新テクノロジーの導入。 公共施設での売電設備が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミの出し方がよくわからない。(ペットボトル、プラスチック)。【2件】 集合住宅のごみ収集場所の管理。 コンポスト教育があまりない。
自然環境	生活環境
<ul style="list-style-type: none"> 公園が少ない。 街路樹をもっと工夫して植えてほしい。 虫が減った。 畑による土埃。 農業用水路の整備に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通の不便さ。【3件】 タバコのポイ捨てや煙。【2件】 ペットの散歩のマナー。【2件】 車と自転車の道路の使い方。 街のきれいさに地域差がある。 カラス。 オートバイの音。 ハクビシンの出現。 ドブがある。 バスの便が少ない。 分煙ができていない。 夜緑地が暗く怖い。
その他	
<ul style="list-style-type: none"> 買い物の不便さ。【2件】 デザイナービルドが少ない。 重大事件が多い。 魅力がない。 子どもの遊ぶところが少ない。 道路のでこぼこ。 	<ul style="list-style-type: none"> 車いすの道路対応。【2件】 ふせんがもったいない。 ファッション力。 新しい住宅地に袋小路が多い。 水たまりが多い。

② 「小平市の環境が将来どうなってほしいか」

二酸化炭素排出量の削減や緑の保全、道路関係の整備についての意見が出ていた。



エネルギー	廃棄物関係
<ul style="list-style-type: none"> 自然を利用したエネルギーを作れるように。 CO₂を削減。 CO₂削減方法を市報に載せる。 家庭用蓄電池の補助金を増やす。 住居の再構築。 最新テクノロジーの研究。 	<ul style="list-style-type: none"> 集合住宅のごみ収集状況の改善。 食品ロスに努める。 小学生でもわかるごみ教育の資料。 生活困難者のごみ捨てサポート。 生ごみをその日に処理できる。 分別のルールをわかりやすく。
自然環境	生活環境
<ul style="list-style-type: none"> 緑を残す。 農業用水路の整備均等化。 昔と同じ環境でいてほしい。 旧水路の復元。 古い木の保守。 森林の増幅。 公園で楽しく過ごせる日々を永遠に。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスを使いやすく。【4件】 道をいつもきれいに。 ペット条例の整備。 主要道路脇の整備。 自転車が走りやすい道路の整備。
その他	
<ul style="list-style-type: none"> 歩行者道路、スクールゾーンの増加。【3件】 緊急時の救急車以外での対応。 新興住宅地に袋小路を作らせない。 学校施設のコンバージョン施策。 あいさつができる。 市庁舎の移転。 西武鉄道の無音化。 住みたい街づくりによる魅力の向上。 子どもの遊び場の増加。 安心して過ごせる（防犯等）。 楽しく暮らせる（子ども、高齢者）。 電柱の地下化。 歩道を車いす対応に。 スポーツセンターを歩ける距離に。 ホスピタリティーの再構築。 	

③「②を実現するためには何をすべきか」

市がやるべきことや個人でやるべきことを明確にし、それをPRすべきといった声が挙がった。



エネルギー	廃棄物関係
<ul style="list-style-type: none"> 夏、冬の温度設定を意識。 中島町のごみで発電。 二重断熱窓を全戸に導入する。 炊飯器の保温機能の使用の減少。 	<ul style="list-style-type: none"> 分別について。【3件】 ごみの減量。 裏紙の使用。 レジ袋を使用しない。 園芸で出た古い土の再利用。 外国人に対しての対応。 集合住宅のごみ収集に対する市からの指導。 回収日を守る。
自然環境	生活環境
<ul style="list-style-type: none"> 子どもに自然と遊ぶ大切さを教える。 農業用水路の整備計画（残す or 整備する）。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの利便性向上。【4件】 ボランティアの清掃活動をもっと見えやすく。 ごみ拾い。 環境美化に関するステッカーを市民にデザインしてもらい、希望者に発行する。
その他	
<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティの充実（学生、市民）。 グリーンロードの車線を歩く人の対策。 道路工事を減らす。 マーケティングの展開。 市民同士での共有。 市民にわかりやすく短いアンケートをとり、優先順位をつけて実現可能にしていく。 個人でできることと市が行うべきことを明確にする。 小学生に環境に関するポスターを作成してもらい、大人に伝える。 電柱の地下化。 駅前の整備。 今回のような”場”を多く開催。 環境の情報発信。 ファッション性。 	

(3) まとめ

ワークショップのまとめとして議題②と③について他の参加者の意見をふまえ、印象に残った考えや共感したことを一人ひとりに考えていただいた。

②「小平市の環境が将来どうなってほしいか」
・コミュニティバスを病院、役所等、市内からいけるように。
・歩道を車いす対応に。
・省エネ。
・住みやすく、健康を長期に保てるシステム展開。世界中に展開している最新テクノロジーの探究。小平市でマーケティングの展開と小平市民の需要。
・小平市の各企業との連携を高める。
・薬物に頼らず、自然療法の探究。
・地域差のない生活環境を求める。花小金井ができて、他ができないことはない。
・ずっと生活して楽しい街であってほしい。
・エネルギーを大切に目的に合った使い方をしていかなければならないと思います。
・交通手段などコミュニティバスなどを利用して生活に役立つように今のニーズをしっかりと調べて対応していかなければならないと思います（高齢者対策）。
・今回参加して、他の方の意見を聴いて改めて環境について考えるいい機会だと思いました。自分の住んでいる地域のことしか知らないのでは他の地域のことも知ることができて良かったです。
・外国人や生活に自立の援助が必要な方が取り残されないごみ捨てルールや援助の普及。ごみを外に捨てるのは1964年東京オリンピック前の状態に戻っている？
・自動車道路の端の自転車マークはありがたいですが、段差が多くて車道に転んだりするので危ないので平らになったらうれしいです。グレーチングの上を通るのも滑ります。結局みんな歩道を自転車で通ります。
・小平市にずっと住んでいたいと思える住みやすい町であって欲しい（子どもにも高齢者にもやさしい）。
・全体的にコミュニティバスの経路を増やして欲しい意見が多かった。利用している私としてはありがたいです。他の人達にも同じようにしてもらえたら。
・今回集まった人達の中に若い方が少ないので、年齢層が広い意見が聞けるよう参加してほしい。
・緑を多く残してほしい。
・夜間の照明を増やしてほしい。
・小平に住んで良かったなと思う人が一人でも多くなるように。近くにいる娘がこの前の台風の時に「小平って良い所だね」としみじみ言っていました。災害が少ないところだからでしょうか。
・自転車がもっと楽に走れる道が増えるといいですね。
・ごみの分別に関しての意見が目立った。
・小平は緑が多い地域ですので、今日の話合いで意見がありましたがいい環境でいてほしいです。
・ごみ問題でも市民の方々の意識が大分変わられたことはとてもいい事と思います。

③「②を実現するためには何をすべきか」
・コミュニティバスの電化。
・電柱の地下化。
・全家、二重断熱窓に。
・行政の機動力、コミュニティ力、信頼性の高揚。常に市民からの最新のニュースを聞き入れる。
・水や木々の需要。
・人間本来の構造を認識して常にポジティブに前向きに進む。
・市がいつも情報発信をして楽しく市民が生活できるようお願いします。
・犯罪のない、誰でも通報できて市民が情報共有できる街づくり。
・市が何をすべきか、市民の要望を把握することだと思います。
・市民個人も意識をもって取り組むべきだと思います。
・ごみパトロールシステム？
・夜間のごみ出しオッケーにする？（福岡市のように）
・ごみ収集の人が大変なのでごみ特ロッカーを作る？（乗り降りが多いと痔が大変だと聞きました）
・道のあり方を考えてほしいです。
・グリーンロードも平らな自転車車線をみんな歩いていて引きそうでルール決めをしてほしいです。
・市民が何を求めているのか、声を聞くことのできる場やネットを利用して沢山の意見を集めて欲しい。
・やってみようから物事を考えてみたい。
・地域別ではなく、市内の地域をつなぐ（市の施設を巡回）コミュニティバスの新設。
・市内の駅間をつなぐ公共バス（西武、立川、関東など）を誘致する。
・市内の大学キャンパスをつなぐコミュニティバスの新設。
・新興住宅地に袋小路をつくらせない条例の整備。
・農業用水路を残すか、廃止するか整備計画の実施。
・「ドブ」がある道を全廃する道路計画。
・市民優先の「シェア畑」の設置。
・グリーンロードを使った「桜まつり」の開催。
・市にお願いします。
・「学生の意見を取り入れる」という意見が出ていてすごく良いと思いました。
・「地域コミュニティの充実」ということで、「市民で何かしたい！」と思っている方が多いと思いました。
・エネルギー問題でも一人ひとりの意識が強ければ大分変われると思う。
・不便な地域にコミュニティバスの話が出ましたので市の方で考えてほしいです。

■終わりに

参加者の皆様に積極的に意見の共有をしていただいたため、各分野における考えや次回のワークショップの議題、市の姿勢等、様々な視点からのご意見をいただくことができた。ワークショップの感想では、「同じ意見の方も多く参考になった」「自分では思い浮かばない事が沢山あることに気付かされた」「これからもこのような「場」に参加したい」、「若い世代ともっと意見交換をしたい」といった、前向きな意見をいただくことができた。第1回の反省をふまえ、第2回、第3回の開催へとつなげていきたい。

